

新潟Uターン情報

U・TURN



NIIGATA U-TURN INFORMATION!!
2009 Vol.1

ただいま新潟県内イベント満載
お見逃しなく!



長岡花火

CONTENTS

○県内企業紹介

元気な若者募集中!新潟県の積極採用企業
・株式会社シアンス
・医療法人社団しただ/社会福祉法人しただ

○帰省時の情報収集方法

○Uターンした先輩のインタビュー

がんばれ後輩!

○企業が新入社員に求めているもの

～フレッシュマンの意識調査～

◇まだまだあつい! まだまだ続く!

にいがた花火王国

◇里山を舞台に3年に1度開催される世界最大の国際芸術祭

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009

◇うまさぎっしり! 新潟デスティネーションキャンペーン

◇開催間近!

トキめき新潟国体 トキめき新潟大会

全部まとめて [にいがた観光ナビ](#)

[検索](#)



発行

新潟県産業労働観光部労政雇用課 〒950-8570 新潟県中央区新光町4番地1 電話025-280-5270(直通)

新潟地域振興局企画振興部 025-231-8171 長岡地域振興局企画振興部 0258-38-2546 上越地域振興局企画振興部 025-526-9431

元気な若者募集中!

新潟県の

積極採用企業

若い発想が活躍できる
フィールドがここにある。

 **株式会社シアンス**

■会社概要

- 資本金：3,600万円
- 従業員数：60名
- 事業内容：情報システム立案・開発、Webサイト制作など
- 採用実績：平成20年度（新卒7名、中途6名）
- 所在地：新潟市中央区万代2-3-16
- URL：http://www.siance.co.jp/

■会社案内

「シアンス」とは、「Sincerity（誠実）」と「Reliance（信頼）」とを融合させた言葉。その名の通り、お客様に誠意を持って接し、信頼していただける仕事をしていこうというのが当社の原点です。システムコンサルティング、システム開発、eラーニング、Webサイトの制作など、ITを活用して最適な情報システムを立案・構築し、お客様が抱える問題を解決していきます。

■シアンスの営業は「もっと」を提案する自己表現の職業です。

私はシアンスに新卒で入社し、現在6年目です。出身は県外なのですが、新潟の大学に進学し、新潟で就職活動を行いました。シアンスに就職を決めた理由は、「お客様との信頼関係」を重視した会社の方針に魅力を感じたためです。現在の仕事の内容は、マルチメディア課のリーダーとしてWebサイトを中心として、eラーニングやシステム開発に関する営業活動と若手メンバーの指導を行っています。



Webディレクター林さん(左)と営業リーダーの佐野さん(右)



仕事を行う上で心掛けているのは、やはりお客様との信頼を築くことです。それをベースとしてお客様の要望を聞きだし、お客様の役に立つよう提案・助言を行います。特にWebサイトは、形の決まったものを販売するわけではないため、契約後、お客様と一緒により良い、より役に立つものを構築していくような感じがあります。

Webサイト公開後に、お客様から感謝されることに、大きな喜びを感じます。今後も、信頼関係をベースとして、よりお客様の役に立つ仕事をしていきたいと思っています。

ソリューション部マルチメディア課 リーダー
佐野総一さん（2004年新卒入社）

■自分のやりたい事を探したら、地元の新潟にありました。



制作事例：新潟アルビレックスBCのオフィシャルWebサイト

私は高校卒業後、県外で大学・社会人生活を体験しました。新潟で就職する事も考えましたが、県外にいとそ土地での就職活動の方がやり易いという現実がありました。いつかは新潟に戻りたいが、「自分の好きな仕事をする」事だけは譲れない条件でした。

新潟に戻ってすぐに就職できたわけではありません。そのため技術の勉強や資格の

取得をしながら、インターンシップに参加しました。そこで今の会社・仕事を選ぶきっかけを得ることになりました。事前に職場を体験でき、やれるという自信を持った事。「自分がやりたい事・できる事」と「会社が求める事」にギャップがなかった事です。

現在、私はWebサイトの制作、特にWeb上で動くシステムを作る仕事をしています。お客様の声や同じ目的を持ったメンバーに刺激をうけ、いつもやりがいを感じています。更なるステップアップのため今でも勉強は欠かせません。

ソリューション部Web制作課 Webディレクター
林 和幸さん（2008年Uターン入社）

■積極的な人、創造性あふれる人、シアンスと一緒にがんばりましょう!

20代の社員が6割強を占める会社です。若い人が多いため、仕事上のお話はもちろん、テレビや趣味の話を通じてコミュニケーションがとれやすい環境です。

学生の方からよく「文系の出身ですがSEになれますか?」という質問をいただきます。私たちの会社では、SEとWebデザイナー・ディレクターを合わせて50名ほどいますが、6割は理系出身者、4割が文系出身者で占められています。文系出身者でもSEとして大きなプロジェクトを任せられて、活躍している社員が多いです。

未経験でも先輩がしっかりとサポートし、つまづいても手をひいて励ましてくれるため、近年新卒社員がすぐ辞めるといった風潮に反して当社の定着率は高まっています。


どうしたらお客様の求めているものを提供できるかを考え抜けるような、積極的かつ創造性あふれる新卒およびUターンの方を求めています!

管理部人事課 採用担当
石井雅実さん（2007年新卒入社）



制作プロジェクトのミーティング

あなたとともにできること
ここからだにくつろぎのいづく

 医療法人社団 **ただ**
社会福祉法人 **ただ**

高齢者の方々のニーズに合わせた、医療・福祉サービスを多角的に行っております

■法人概要

- 医療法人社団ただ 従業員数：300名
- 社会福祉法人ただ 従業員数：80名

- 事業内容：(医)ただ かもしか病院 介護老人保健施設いづく 訪問看護ステーションとんぼ 介護老人保健施設いづく2番館 特別養護老人ホームいづく ケアハウスいづく 在宅介護支援センターいづく おざぼり保育園
- (社)ただ

- 採用実績：(医)ただ 平成20年度50名 (社)ただ 平成20年度10名

- 所在地：(医)ただ 三条市長野337 (社)ただ 三条市庭月630-4
- URL：http://www.shitada.jp/ 法人公式ブログ「ただブログ」 随時更新中! http://shitada.blog-niigata.net/



先輩の声

かもしか病院
看護課主任
長沼亜希子さん 32才



■かもしか病院を選んだ理由を教えてください!そして今の職場について一言!

総看護師長さん、事務長さんのお人柄が面接の時に温かく感じられました。そして前もって環境が良いという事を聞いていたからです。環境というのは自然環境はもちろんですが、なにより職場環境ですね。病院などの医療施設は人間関係で難職してしまうという話を聞きますが、ここはみ



んなで何でも協力しながら仕事ができる職場ですね。また若いスタッフが多く、同年代の方が大勢いますのでコミュニケーションがとれやすく、困りやすいです。職場環境は自信を持ってお勧めできますね!

■医療の現場では職種間の壁などということがよく言われますがそのあたりはいかがですか?

うん、職種間の隔たりというのが全く感じられなかったですね。今でも同じように感じています。特に病棟では看護職と介護職が接する機会が一番多いですが壁は感じていません。実務に関しては医師・看護・介護がチームで1つの目標に向かっており、チーム医療・ケアが実践できていると感じています。

先輩の声

介護老人保健施設いづく
介護職
鈴木己知男さん 32才



■鈴木さんにとって老健いづくはどんな仕事場ですか?

職場環境が良いという事が一番だと思います。若いスタッフが多く、気軽に相談相手にもなってもらえます。今年で入職6年目ですが、周りのサポートがあったからこそ続けてこれたと思っています。施設の雰囲気も柔らかく、なじみやすい環境ですね。働きやすい環境が、より良いサービスにつながっていると思います。

■無資格未経験でのスタートに不安はなかったですか?

不安はありましたがそれ以上に周りからのサポートがあったと思います。私以外の沢山の方が未経験で介護業務を始めて、今でも現場の第一線です。学歴、年齢等に関係なく、頑張った分だけ評価される環境も大きな魅力だと思います。

■仕事において大変だと思うことは?逆にやりがいを感じることは?

介護職にはご利用者を取り巻く全てを支援し、そして安全を守ることが求められますし、なおかつ家人との関係を築く、という部分が大変さを感じると思いますが、そこがやりがいのある部分でもありますね。

2011年に新潟に「ターン、木村さんからのメッセージ」

入職4年目
総務部広報/施設管理担当
木村さん 37才



新潟出身の人ほど新潟の魅力に気付いていないな、というのが千葉出身、社会人として6年ほど東京で暮らした私の率直な感想。今、大都市圏で生活している人たちに聞きたいのが「すり減っていないですか」。朝の満員電車から始まって、とんでもない渋滞。なにをするにしても、結構な行列。これって気がつかないうちに人生をすり減らしているような気がします。住環境って結構大事だと思いますね。

そして新潟の良さだけど、何かをしようとしたらすぐにできる。田んぼばかりのようだけど意外と何でも手に入る。ネットも充実していますし、たしかに交通インフラに関しては車がないと厳しいけれど、逆に車さえあれば実にスムーズ。

あと仕事のこと。どこにいてもやりたいことがあればどこでもできる。自分の能力を生かすチャンスは無人島でもNYでも新潟でもその人の考え次第。逆に地方の方がパワーを持っているらばチャンスありだと思いますよ。

最後に。I・Uターンは「都落ち」なんかではないですよ。フロンティアスピリッツを持っている人だけができる、と思います。

**託児所・独身寮あり
各種資格取得支援制度充実!**

◆お問い合わせ先 0256-41-3810
総務部 飯塚/峰村

帰省時の情報収集方法

就職活動をする上で、情報収集はとても大切です。就活サイト、企業HP、就職関連のガイドブック、企業情報誌など、今、情報はいるなどところにいる媒体で存在しています。これらを活用して、県内企業の情報もいろんな方法で収集できます。

Uターン就職を考えている皆さんにとって、夏休みや冬休みなどの帰省時は県内企業の情報収集のための絶好の機会です。この限られた期間を有効に活用して県内企業の情報を効果的に収集しましょう。

ただ、—— それは分かっているけど…。情報収集と言っても…。などなど、「何からすればいいのかわからない」という方、多いのではないのでしょうか？

とりあえず、就活サイトに登録して、自己分析は始めてみたものの…。なかなかかどらずに休みが終わってしまった…。なんてことがないよう、地元ならではのこんな過ごし方はいかがでしょう。限られた帰省期間を目的を持って有効に活用しましょう！



が各STEPのポイントです。

STEP 1

帰省前の準備をしよう！

就職活動の情報収集と言えば、「就活サイト」、「インターネット」と思いこんでいませんか？でも実際はそれだけではないんです。現在、企業が新規卒者を採用するための主な方法は①学校へ求人票を提出しての募集 ②ハローワークへ求人票を提出しての募集 ③就活サイトを利用した募集 ④就活サイトを利用せず独自に自社HP等を利用した募集の4つです。企業の採用活動はこれらを複数利用しての募集が一般的となっています。このうち、主な就活サイトは6月にプレオープンして、すでに2011年卒のエントリーを開始しています。この就活サイトにエントリーして、「就職活動開始」と思っていますか？確かに就職活動にあたって、今や就活サイトは必須となっています。就活サイトを利用しないで就職活動というのは無理があるでしょう。

でもその前にまずすべきこと。それは学校のキャリアセンターへ行くことです。キャリアセンターを利用する最大のメリットは、「その学校独自の求人票がある」ということです。学校に提出された求人票で、まず、どんな企業から求人かきているのか調べてみましょう。インターネットでは探し出せなかった求人を見つけられる可能性も十分あります。また、先輩がどんな企業に就職したのか見えてきます。これにより、OB・OG訪問の足がかりにもなります。

就職活動は、いかにして「情報収集」をするかが大切なポイントになってくるでしょう。いろんな場面で「情報収集」というキーワードがついてまわります。これから就職活動を始める人で「何から調べていいかわからない」という人は、目的がはっきりしないままいきなり大量の情報を仕入れようとするのではなく、例えば「先輩が就職した企業」に絞って情報収集するというのもひとつの手段ではないでしょうか。

このようにして、まずは学校のキャリアセンターを利用して、帰省する前に自分なりに目的を持って予習しておくことをオススメします。



STEP 2

生きた情報を手に入れよう！

情報収集はインターネットのようにどこにいてもできるものと、地元にいる時にしかできないものがあります。帰省時には帰省時にしかできない情報収集を重点的に行いましょう。では、帰省したら何をやるか。地元で働いているOB・OG訪問、インターンシップへの参加は可能な限り積極的に行いましょう。調べたい企業に対する理解が深まるだけでなく、多くの社会人と接することで社会人目線での考えに気づいたり、就活マナーのお手本になることも多いはず。オフレコの話も聞けるかもしれませんよ！ただし、これらはすべて自分の都合ではなく相手の都合に合わせる必要があります。また、インターンシップは期間や人数に制限があります。帰省前から計画を立て、無駄のないスケジュール管理を心がけましょう。他にも地元紙で県内企業のトピックスや地域経済、雇用の動向なども把握しておくことが参考になります。新聞は「就職」という観点から記事を書いているわけではないので、「企業HPの採用ページでは見えない違った角度からの見方ができる」と思います。また、これにより新たな発見があるかもしれません。新聞など参考になりそうな情報源は家族に頼んで保管してもらいましょう。他にも地元自治体や商工会などが発行している企業ガイドなども調べてみると良いでしょう。

就活×モ

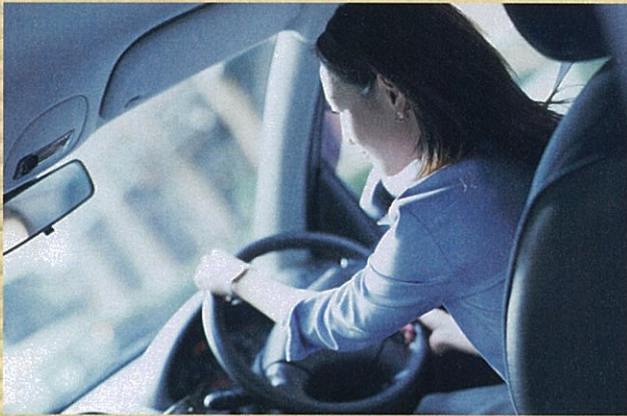


県内の就職関連情報はこちらからもご覧いただけます。県内トピックス毎日更新中！

ニイゲット 検索

STEP 3

ドライブで気分転換！



いくら就職活動中だからと言っても、ただ、パソコンで情報収集したり自己分析をしたりするだけでは先の長い就職活動、さすがに疲れてしまいます。そんな時は、気分転換もかねてドライブしてみたいかどうでしょうか。行き先はどこでもかまいません。でもドライブルートに調べたい企業を入れてください。そして実際にその企業まで足を運んでみてください。企業見学ではなく外から眺めるだけでもOKです。ただ、できればそこでいろんなことをイメージしてみてください。「この会社に就職したらランチはこんな店がある」「仕事帰りはこのジムで汗を流して帰れるな」「通勤で毎日この海岸線を走ったら気持ちいいだろうな」など。その企業に対して少しでもイメージがわいてくることによって、その企業の情報もすんなり入ってくるでしょう。逆に今まで見えなかった疑問がわいてきたり、企業に対する理解が深められるのではないのでしょうか。また、自分が「地元で働く」ということもイメージしやすくなると思います。会社説明会で初めてその会社に行ったら道に迷って遅刻した…なんて失敗もなくなりますよ。

Uターン就職 Q & A

にいがたUターン情報センターに寄せられるよくある質問です。

Q 新潟に就職するなら地元学生の方が有利？

A まったくそんなことはありません。企業が選考を行う際、重視する点として「やる気」「コミュニケーション能力」「協調性」など主に人間性に関する部分を重視しています。「学校が県内か県外か」によって判断されるものではないので安心して県内企業を選んでください。

STEP 4

ハローワークで情報補完！



企業が新規卒者を採用するための主な方法はSTEP1で言ったとおり4つあります。その中の一つとして学校へ求人票を提出しての募集がありますが、これは、県内県外すべての学校へ提出しているわけではありません。よって県外の学校の場合、キャリアセンターにはなかった求人票でもハローワークへは提出されているものもあります。「学校のキャリアセンターに行ったけどあまり県内企業の求人になかった」といった話をたまに聞きます。より多くの求人をみつけるためには、学校、ハローワークの両方を有効に利用しましょう。また、ハローワークは就職に関する情報が豊富にあるだけでなく、卒業年次を問わず広く就職活動の相談にのってもらえるので、ぜひ1度足を運んでみてください。

就活×モ

ハローワークに提出された求人はこちらからもご覧いただけます。

学生職業総合支援センター 検索

Q 新潟より首都圏の方が、採用スケジュールが早いと聞けど…。

A 一般的にはそう言われていますが、すべての業種・職種がそうとは限らないので注意が必要です。あくまでも採用スケジュールは各企業によって異なりますので、きちんと日程を確認しておく必要があります。

Q 東京都内で県内企業の合同企業説明会はある？

A あります。しかし、都内で開催される民間企業主催の合同企業説明会は1月でほぼ終わってしまうのが例年のパターンです。1月まではUターン希望者向けの合同企業説明会が月に数回開催されています。都内で県内企業の情報収集ができる貴重な機会ですので必ず参加しましょう。

がんばれ 後輩!

「地元で暮らす ことの安心感、 自然の良さにも 気づきました。」



佐藤あかりさん
糸魚川市(旧能生町)出身
糸魚川信用組合能生支店勤務(3年目)

Q1 Uターンする前はどこにお住まいでしたか?

大学進学で東京都に4年間住んでいました。

Q2 Uターンした理由は何ですか?

どこに就職するか悩んでいた時に中越地震が発生し、改めて地元で暮らすことの安心感や家族と過ごすことの大切さを感じ、地元での就職を決めました。

Q3 入社した動機は?

経済学部で学んだことを無駄にせず関わり続けていきたいと考え、金融機関を希望しました。他の地方銀行も考えましたが、実家から通勤できる糸魚川信用組合が第一志望でした。また、現在勤務している能生支店は実家の近所なので以前から利用していて、その際の窓口の対応が良く、とても好印象だったのも志望理由の一つです。

Q4 仕事の魅力を教えてください。

お客様に「ありがとうございます」と感謝された時です。休日にスーパー等でお客様から声をかけてもらえるのも嬉しいですね。

Q5 具体的な就職活動は?

大学3年の4月頃にHPを見始め、GWや夏休みに地元の金融機関をまわり資料を集め比較しました。本格的な就職活動は4年になってからです。東京では2月頃から就職活動が始まっていましたが、糸魚川信用組合の場合、HPには採用に関する情報が載っておらず、本部に電話で確認したところ、GW明けに試験があることを知りました。東京の友達はGW前に決まっていたので少し焦りました。

Q6 自分なりの必勝法は?

大学側から、「第一志望を受ける前に何か受けたほうが良い」というアドバイスがあり、練習を兼ね数社を受けてから糸魚川信用組合の試験に臨みました。

Q7 休日の過ごし方は?

中学は陸上部で、よく町内の駅伝大会で走っていましたが、今は里山で長い距離を歩きながら写真を撮ることが趣味になっています。内勤なので運動不足の解消がきっかけでした。

Q8 Uターンして良かったことは?

一番は実家から通勤できる安心感です。幼馴染みや友人が近くにいることや子供の頃には分からなかった自然の良さにも気づきました。

Q9 学生へのアドバイスをお願いします。

3年までに必要な単位を取って、4年は就活一本に絞ったほうが良いと実感しました。遠距離の採用試験だと日帰りは無理なので数日休むことになり、授業の組み方もポイントになると思います。

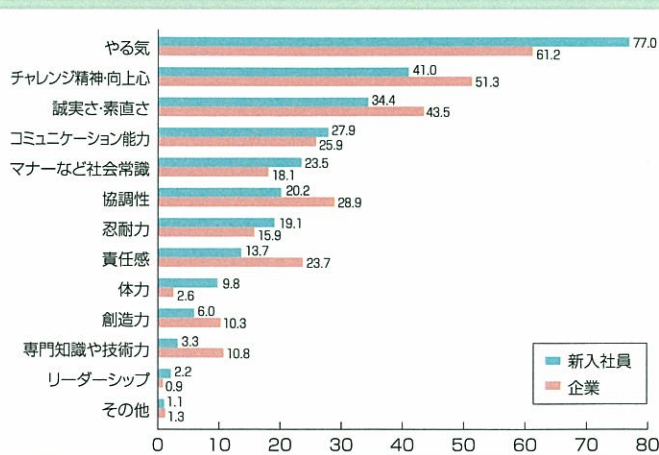
企業が新入社員に 求めているもの

～フレッシュマンの意識調査～

この調査は、株式会社ホクギン経済研究所が県内の新入社員及び企業を対象にアンケートを行ったものです。企業が新入社員に求めるもの、不足と感じるものは新入社員の意識とは違った傾向が見られるようです。

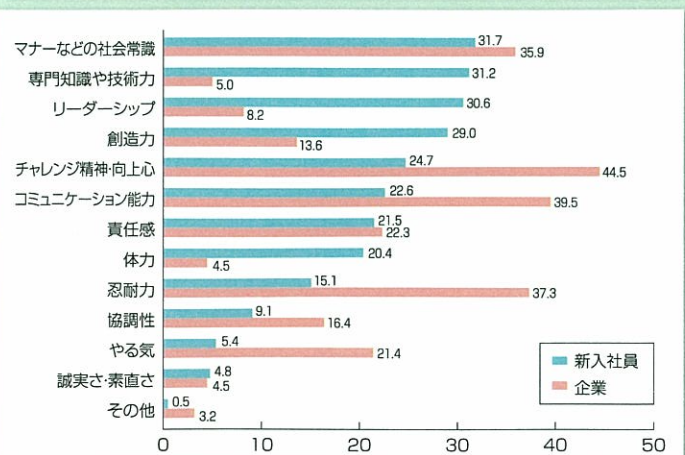
Q1. 新入社員に期待されていることは?(複数回答3つまで)

A. 新入社員、企業ともに「やる気」「チャレンジ精神・向上心」などの期待度が高い。ただし、そのレベルは異なる。「協調性」「責任感」で新入社員と企業の間で意識の差が見られる。



Q2. 現在の自分に不足していることは?(複数回答3つまで)

A. 「専門知識や技術力」「リーダーシップ」「創造力」は新入社員が思っているほど企業が不足しているという意識はない。逆に「チャレンジ精神・向上心」「コミュニケーション能力」「忍耐力」「やる気」は新入社員が思っている以上に企業は不足していると感じている。



(株式会社ホクギン 経済研究所「フレッシュマンの意識調査」)